





事例No.41 ロボットスーツ「HAL®」を用いたトレーニング

事業所名 企業名	鈴鹿ロボケアセンター株式会社 公式ホームページ：http://www.robocare.jp/suzuka/				
所在地	鈴鹿市	従業員数	5名	産業分類	その他の生活関連サービス業

【事例の詳細】

機能	心身の健康 促進トレーニング	使用 機器等	ロボットスーツ
取組 内容	<p>当トレーニングセンター「HAL FIT®」では、ロボットスーツ「HAL®」（非医療用モデル）を用いたトレーニングを行っています。</p> <p>ロボットスーツ「HAL®」は、筑波大学大学院システム情報工学研究科の山海嘉之教授が革新的テクノロジーで開発されたもので、装着した利用者の脚を動かそうとする意思に応じて作動して動作をアシストします。</p> <p>当トレーニングセンターでは、専門スタッフが利用者の方ひとりひとりにあったトレーニングメニューを組み、楽しく運動を行っています。トレーニングの様子は動画で撮影することで、利用者の方自身にも、その様子をご覧いただいています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div> <p>【HAL®装着時の運動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●膝の曲げ伸ばし ●立ち座りやバランス練習 ●歩行練習（免荷歩行器・テレッドミル等併用） ●フィットネストレーニングなど 		
導入 プロセス	<p>鈴鹿ロボケアセンター株式会社は、山海嘉之教授が研究成果で社会貢献するために設立された「CYBERDYNE株式会社(サイバーダイン株式会社)」の子会社で、ロボットスーツ「HAL®」を活用したトレーニング事業などを行う企業として2013年4月に設立されました。</p> <p>【鈴鹿ロボケアセンター株式会社の事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●介護ロボットを活用したトレーニング事業 ●デイサービス等介護保険事業 ●医療福祉機器およびシステムの研究開発事業 ●運動施設・フィットネスクラブ事業 ●インストラクター・トレーナー教育事業 		
成果 効果	<p>病気、けが、老化、障害などで低下した運動機能のトレーニング効果はもちろんのこと、利用者が楽しくトレーニングできることで、その意欲が高まるようです。</p>		

【取組みの狙い】

企業ブランドの強化	品質向上	従業員の成長サポート
独自性・独創性の創造・強化	付加価値の創造・強化	労働環境の改善
商圏・販売チャネル・新規顧客の拡大・開拓	生産・業務効率の向上	勤怠管理の効率化
顧客満足度の向上	生産・業務プロセスの改善	その他
価値・品質の見える化	情報管理の効率化	